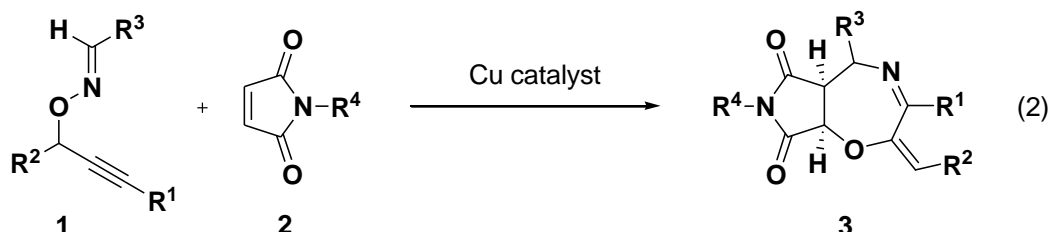
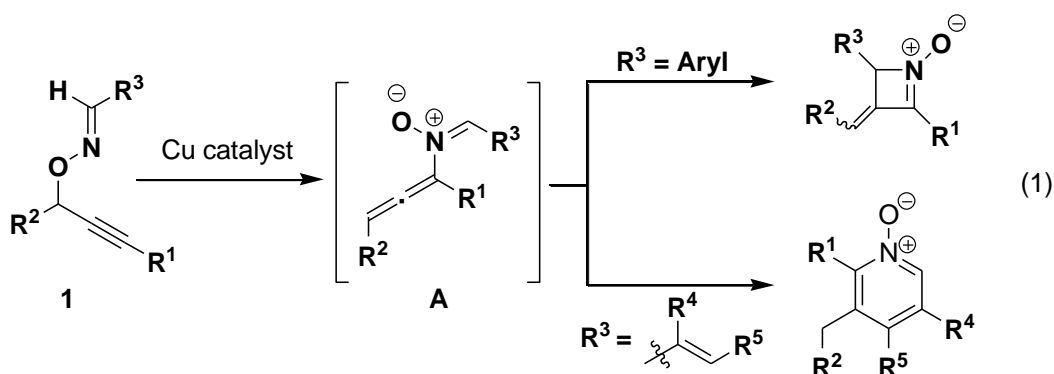


O-プロパルギルオキシムとマレインイミドの銅触媒反応による オキサゼピン誘導体合成

Synthesis of Oxazepine Derivatives by Copper-Catalyzed Reaction of O-Propargylic Oximes and Maleimides.

工藤裕、中村達、寺田眞浩（東北大院理）

骨格転位反応は一段階で複雑な分子骨格を形成できる点で興味深い分子変換プロセスである。当研究室では、O-プロパルギルオキシム **1** を基質とした銅触媒骨格転位反応を報告している(式 1)^{1),2)}。この反応は高活性な N-アレンイリウム中間体 **A** を経路するため、適当な反応剤でこれを捕捉することにより分子間反応が進行すると予想できる。今回我々は基質 **1** とマレインイミド **2** との銅触媒反応により、5 員環が縮環したオキサゼピン誘導体 **3** が得られることを見出したので報告する(式 2)。



<参考文献>

- 1) I. Nakamura, T. Araki, D. Zhang, Y. Kudo, E. Kwon, M. Terada *Org. Lett.*, **13**, **2011**, 3616.
- 2) I. Nakamura, D. Zhang, M. Terada *J. Am. Chem. Soc.*, **2010**, **132**, 7884.

発表者紹介

氏名 工藤 裕 (くどう ゆう)
所属 東北大学大学院 理学研究科 化学専攻
学年 博士課程前期 2年
研究室 反応有機化学研究室

